

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)千早店舗付賃貸マンション	階数	地上13F
建設地	福岡県福岡市東区千早4丁目3010番	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	462 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2017年8月21日
敷地面積	1,653 m <sup>2</sup>	作成者	山本
建築面積	730 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	7,488 m <sup>2</sup>	確認者	



ください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

日本住宅☆☆☆☆☆

標準計算: ①参照値, ②建築物の取組み, ③上記+②以外の, ④上記+

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5  
Q1 室内環境: 2  
Q3 室外環境(敷地内): 2  
LR1 エネルギー: 2  
LR2 資源・マテリアル: 2  
LR3 敷地外環境: 2

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR のスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 空気住環境、機能的な空間作り、敷地内環境、省エネルギー、敷地外環境への配慮にそれぞれ取り組んでおり、低炭素社会の実現に努めている。		0
<b>Q1 室内環境</b> 全戸サッシは複層ガラスを使用、外壁は断熱材を吹付けた防露壁とした。またシックハウス対策はF☆☆☆☆材料を採用した。	<b>Q2 サービス性能</b> 共用廊下・住戸内床は段差をなくし、バリアフリーに対処した。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 周辺に配慮した建物高さ、配置を行っている。
<b>LR1 エネルギー</b> 共用部の照明は、タイムスケジュール制御とし、共用部・住戸内とも主要な照明はLED照明を採用した。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 流し台・便器等の水栓は節水コマ等を採用し、水資源に配慮した。	<b>LR3 敷地外環境</b> 前面道路よりセットバックさせて建物配置することによって、通りに対して圧迫感を与えないようにした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される